

## 水田畑地化モデル「かんしょ現地検討会」in 鹿行 が開催されました

令和7年8月5日（火）に、鹿行農林事務所主催で、園芸農家の水田畑地化の取組拡大を推進する目的のもと、土地改良部門の水田畑地化推進事業の活用により暗渠排水を整備した圃場において、かんしょ現地検討会を開催しました。鹿行管内の生産者や関係機関職員ら約30名が参加し、情報共有及び意見交換を行いました。

銚田市は、野菜栽培が盛んで耕地面積の約8割が畑地であり、特に全国1位の販売額を誇るかんしょでは規模拡大を希望する農家が多い中、新たな耕作用畑地が市内では限られているため、遊休の多い水田に着目し、農林事務所では当普及センターが設置した水田畑地化実証ほにおけるカンショの収量性等を検証しています。

当現地検討会では、普及センターから実証の目的や試験概要などを説明し、園主から水田畑地化に取り組んだ経緯やかんしょの生育状況などのコメントを頂きました。また、土地改良部門からは暗渠排水整備の経過や補助事業などの説明を行い、その後、カンショの圃場の見学を行いながら意見交換を行いました。

参加者からは、「実際に掘り取った後のかんしょの収量や品質が気になる」、「直接生産者のお話を聞くことができ、現地を見学できて参考になった」というような感想が寄せられ、関心の高さが伺えました。

普及センターでは、今後も水田畑地化ほ場における収益の向上効果について検証し、水田畑地化の取組拡大を支援していきます。

### 銚田地域農業改良普及センター（成長産業）



現地検討会の様子